

キューピーみらいたまご財団主催
第14回

地域の 居場所づくり サミット

6/22 土 10:00~12:20

10:00~10:50

キューピーみらいたまご財団 助成事業説明会

講演

「子どものからだところの健康における食と栄養の役割」
早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 規範科学総合研究所
ヘルスフード科学部門 部門長 矢澤 一良 氏

10:50~12:20

事例報告①

「朝食を通じた地域と子どもをつなぐ場づくり」
一般社団法人子ども食堂カフェ北野 理事 奥野 玉紀 氏

事例報告②

「居場所における食を通じた交流」
NPO法人わっか 振角 大祐 氏

グループにわかれた交流会

場所 完全オンライン配信

問合せ

[\お申込みはこちら/](#)

料金 無料 定員 200名

全国食支援活動協力会

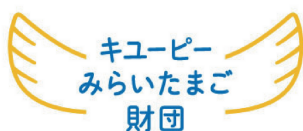
03-5426-2547

平日10:00~17:00

対象 子ども食堂運営団体、子ども食堂の
支援団体、関心のある団体・個人



第1部 キューピーみらいたまご財団助成事業説明会



キューピーみらいたまご財団は、「子ども」を対象とする食育活動、食の居場所づくり活動に対する助成事業団体募集を行います。2024年度から、プログラムB-2（スタートアップ助成）は年2回公募を行います。
サミットでは本件について説明します。

Q

A

サミット終了後、スタートアップ助成にかんする個別相談会を開催いたします。
説明を聞かれて質問などある方も当日参加可能です。

早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構

規範科学総合研究所ヘルスフード科学部門 部門長 矢澤 一良 氏

講演

子どものからだところの健康における食と栄養の役割

居場所での食事は、会話やコミュニケーションを取ることで社会的フレイルを防ぐことになり、ところの健康にもつながります。居場所は、誰にも必要なものです。中でも感受性の高い子どもには、栄養摂取と共にところのケアが特に必要です。成長期は大事な時期であり、こうした活動が日本の将来を救う。ところの健康が、より重要な時代になってきています。

2002年～ 東京水産大学大学院（現東京海洋大学大学院） 水産学研究科
ヘルスフード科学（中島董一郎記念）寄附講座（客員教授）
2012年～ 東京海洋大学 特定事業「食の安全と機能（ヘルスフード科学）に関する研究」
プロジェクト（特任教授）
2014年 早稲田大学ナノ理工学研究機構 規範科学総合研究所ヘルスフード科学部門（研究院教授）
2019年～ 現所属



場所づくりは、ところのケア

第2部 地域の居場所づくり講座

一般社団法人子ども食堂カフェ北野 理事 奥野 玉紀 氏

事例報告

朝食を通じた地域と子どもをつなぐ場づくり

子ども食堂カフェ北野は2021年に開設した子ども食堂。地域のボランティアの力を借りて、平日毎朝の朝ごはんや長期休み中の昼食の提供、週2回の自習カフェ（間食・夕食の提供）や月1回のお弁当配布、様々なイベントなどを行っています。地域の居場所として、年間15000人（延べ数）以上の子どもたちが利用しています。



毎日朝ごはんを提供

NPO法人わっか 振角 大祐 氏

事例報告

居場所における食を通じた交流

わっかは、滋賀県米原市で、2014年から子供たちが自由に過ごす、安心できる場になればと参加費無料で古民家開放などを行っている団体です。
さまざまな子供たちの声に応えるように活動行う中で、晩御飯や昼食などを一緒に食べるようになっていきます。



みんなで食べる暖かい食事

交流会

話すことで、知ることで
つながろう 交流会

食を通じた居場所づくりに関心のある方、居場所運営団体の方、活動を支援する団体・企業の方等多様な参加者が互いの取組み・経験談を共有することができる交流会。「聞く」だけの参加も大歓迎です。